

第4章 主要原料・食品の需給と価格変動

概 要

- 1 畜産食料品
- 2 水産食料品
- 3 農産加工品
- 4 製穀粉・同加工品
- 5 食用油脂・同加工品
- 6 調味料
- 7 大豆・同加工品
- 8 飲料
- 9 冷凍調理食品

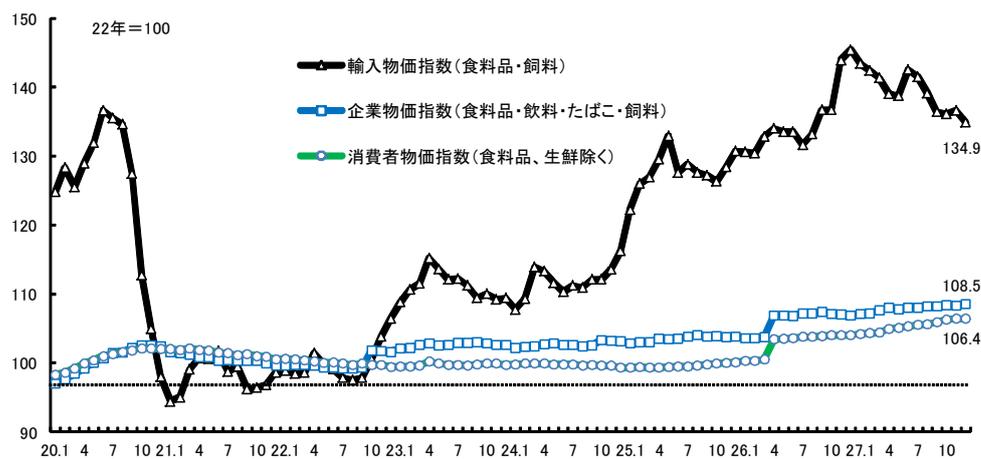
概要

平成 27 年の食料品・飼料の輸入物価は、対前年比で 3.0 %とやや上昇した。平成 24 年後半から米ドル高円安に転換し、主要穀物の高騰が食料品の輸入物価を押し上げている。

平成 27 年の食料品・飲料・たばこ・飼料の企業物価は、対前年比 1.6 %とわずかに上昇した。

平成 27 年の食料品（生鮮を除く）の消費者物価指数は、対前年比で 2.4 %とわずかに上昇した。平成 26 年 4 月に消費税率をそれまでの 5 %から 8 %に引き上げたことから、企業物価及び消費物価は上昇基調となっており、平成 26 年以降は高い相関がみられる（ $r = 0.974$ ）。

図4-1 **加工食品**の輸入物価、企業物価、消費者物価の推移



資料：日本銀行「輸入物価指数」「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-1 **加工食品**の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 食料品・飼料	企業物価 食料品・飲料・たばこ・飼料	消費者物価 食料品(生鮮除く)
指数 22年=100			
20年	124.1	100.5	100.7
21年	98.1	100.6	101.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	111.1	102.7	99.8
24年	111.8	102.7	99.7
25年	127.9	103.5	99.6
26年	135.3	106.2	102.9
27年	139.3	107.9	105.4
前年増減率 %			
21年	▲ 20.9	0.1	0.8
22年	1.9	▲ 0.6	▲ 1.5
23年	11.1	2.7	▲ 0.2
24年	0.7	0.0	▲ 0.1
25年	14.3	0.8	▲ 0.1
26年	5.8	2.6	3.3
27年	3.0	1.6	2.4

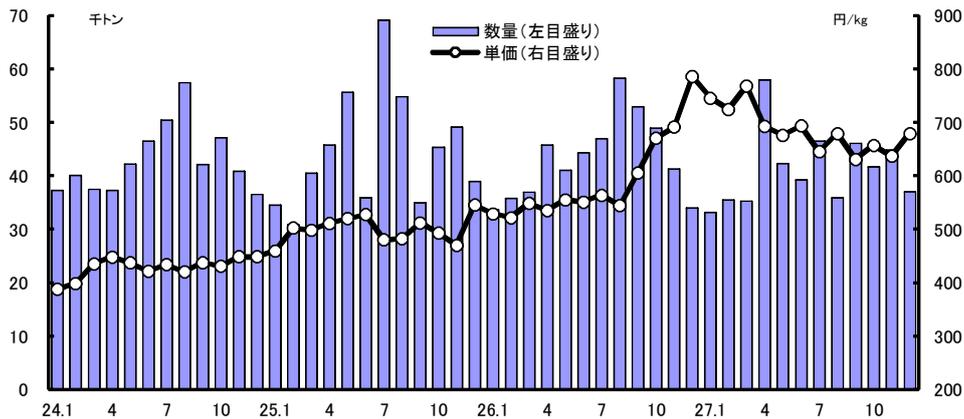
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

1 畜産食料品

牛肉の平成27年の輸入量は、対前年比▲4.7%（26年は▲2.9%）とやや減少、輸入単価（CIF価格、以下、同じ）は同15.7%とかなり大きく上昇。輸入単価は24年末から緩やかに上昇基調。

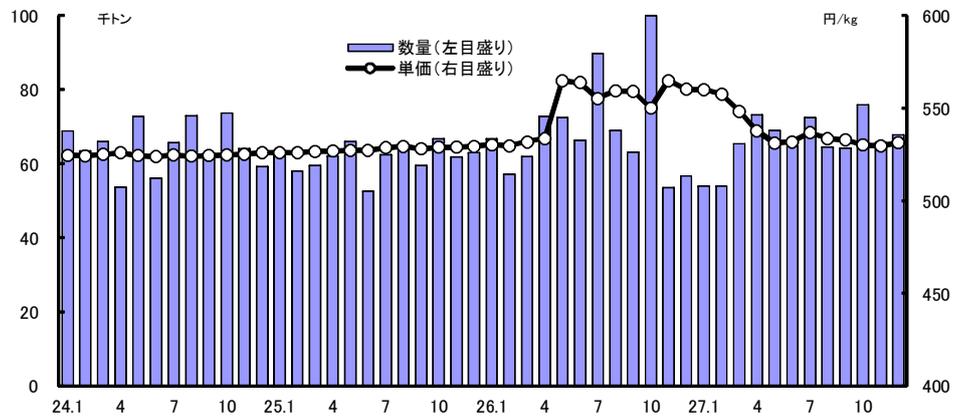
豚肉の平成27年の輸入量は、対前年比▲4.7%（26年は12.3%）とやや減少、輸入単価は同▲2.3%とわずかに低下。輸入単価は26年をピークに低下基調。

図4-2 牛肉の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-3 豚肉の輸入量と輸入単価の推移



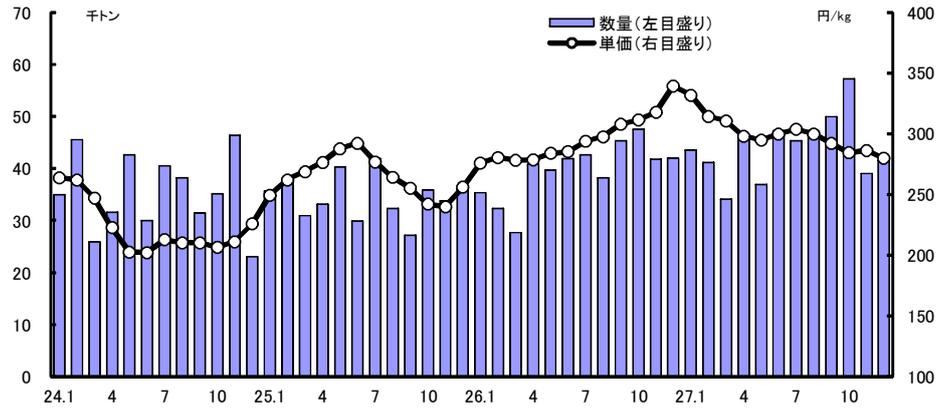
資料:財務省「貿易統計」

鶏肉の平成 27 年の輸入量は、対前年比 11.4 %（26 年は 14.7 %）とかなり大きく増加、輸入単価は同 0.6 %と前年並み。輸入単価は平成 26 年をピークに低下基調。

ソーセージの平成 27 年の輸入量は、対前年比▲ 7.2 %（26 年は▲ 4.4 %）とかなりの程度減少、輸入単価は同 8.5 %とかなりの程度上昇。輸入単価は平成 22 年末から上昇基調。

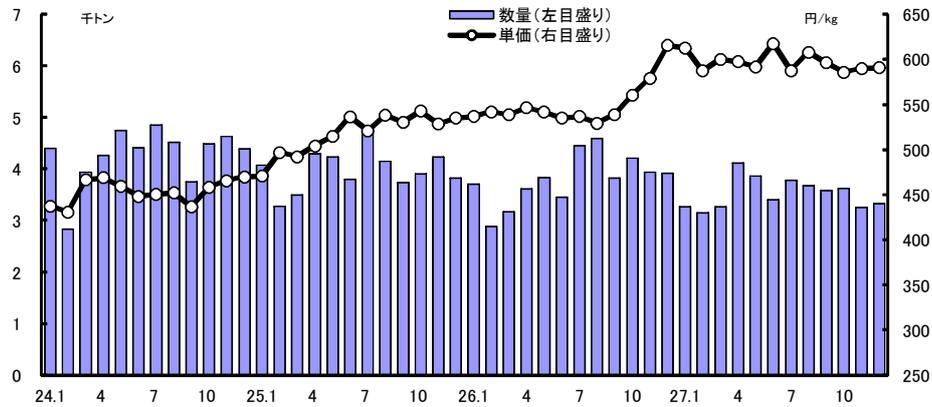
ナチュラルチーズの平成 27 年の輸入量は、対前年比 8.3 %（26 年は▲ 1.7 %）とかなりの程度増加、輸入単価は同▲ 5.4 %とやや低下。輸入単価は平成 26 年末をピークに低下基調。

図4-4 **鶏肉**の輸入量と輸入単価の推移



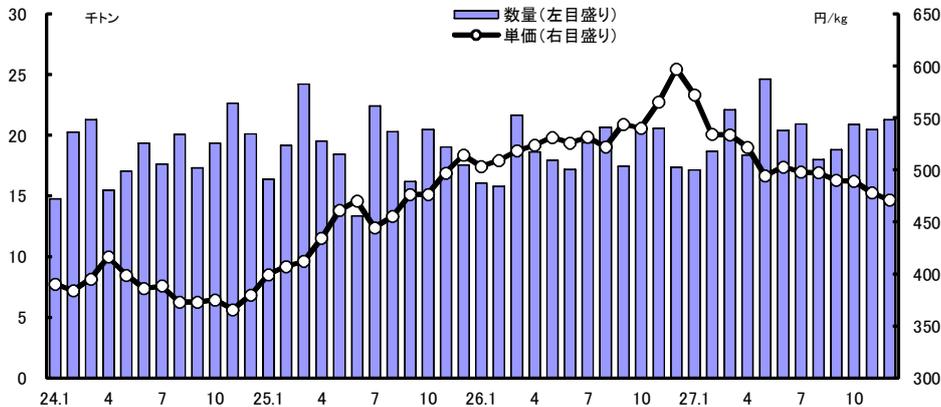
資料:財務省「貿易統計」

図4-5 **ソーセージ**の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-6 **ナチュラルチーズ**の輸入量と輸入単価の推移

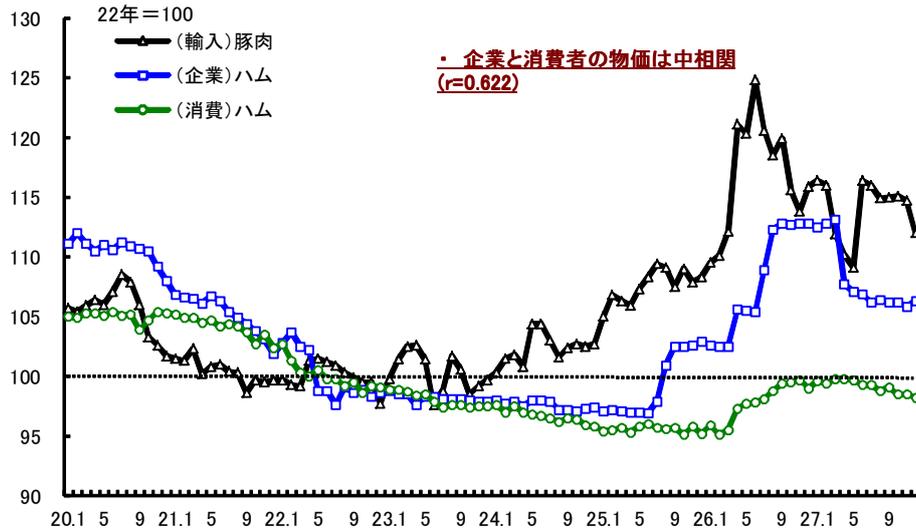


資料:財務省「貿易統計」

ハムの原料である豚肉の平成 27 年における輸入物価は対前年比▲ 2.4 %とわずかに低下したものの、ハムの企業物価が同 0.1 %（26 年は 8.8 %）と前年並み、消費者物価は同 1.4 %とわずかに上昇。月別推移についてみると、輸入物価は 23 年末以降に上昇し、26 年前半をピークに低下基調、企業物価は 25 年夏以降に上昇し、27 年前半をピークに低下基調、消費者物価は 26 年春以降に上昇傾向で、27 年前半をピークに緩やかに低下基調。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降連動しており、相関がみられる。

図4-7 ハムの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-2 ハムの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

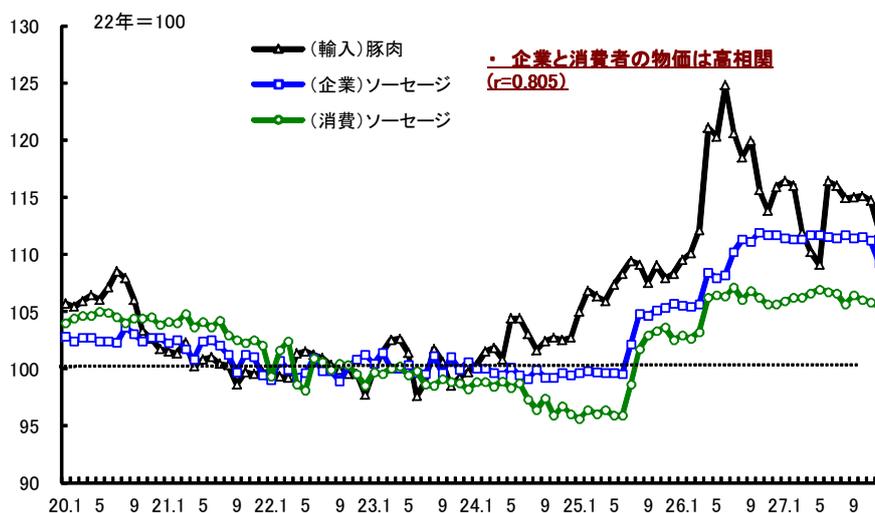
	輸入物価 豚肉	企業物価 ハム	消費者物価 ハム
指数 22年=100			
20年	105.5	110.6	105.0
21年	100.4	105.2	104.2
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	98.2	98.0
24年	102.3	97.6	96.7
25年	107.6	99.3	95.6
26年	116.8	108.0	97.8
27年	114.0	108.1	99.2
前年増減率 %			
21年	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 0.8
22年	▲ 0.4	▲ 5.0	▲ 4.0
23年	0.3	▲ 1.8	▲ 2.0
24年	2.0	▲ 0.6	▲ 1.3
25年	5.1	1.7	▲ 1.1
26年	8.6	8.8	2.3
27年	▲ 2.4	0.1	1.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ソーセージの原料である豚肉の平成 27 年における輸入物価は対前年比▲ 2.4 %とわずかに低下したものの、ソーセージの企業物価は同 2.0 %とわずかに上昇、消費者物価は同 0.8 %と前年並み。月別推移についてみると、輸入物価は 23 年末以降に上昇し、26 年前半をピークに低下基調、企業物価、消費者物価はそれぞれ上昇後、概ね横ばいとなっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、連動しており、相関が高い。

図4-8 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-3 **ソーセージ** の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

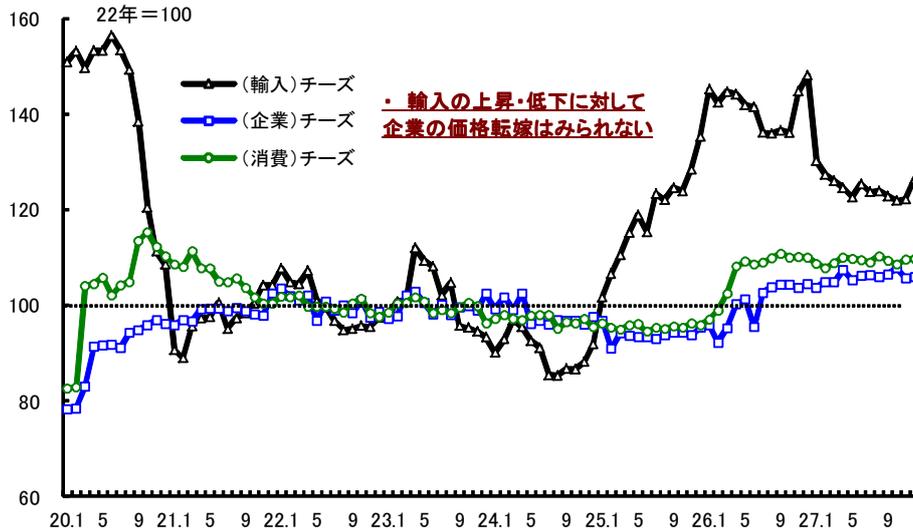
	輸入物価 豚肉	企業物価 ソーセージ	消費者物価 ソーセージ
指数 22年=100			
20年	105.5	102.7	104.4
21年	100.4	101.4	103.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	100.3	100.3	99.2
24年	102.3	99.6	97.6
25年	107.6	102.1	99.1
26年	116.8	109.1	105.4
27年	114.0	111.3	106.2
前年増減率 %			
21年	▲ 4.8	▲ 1.3	▲ 1.0
22年	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 3.3
23年	0.3	0.3	▲ 0.8
24年	2.0	▲ 0.7	▲ 1.6
25年	5.1	2.6	1.5
26年	8.6	6.8	6.4
27年	▲ 2.4	2.0	0.8

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

チーズの平成27年の輸入物価は対前年比▲11.8%（26年は19.1%）とかなり大きく低下したものの、企業物価は同5.5%とやや上昇、消費者物価は同2.1%とわずかに上昇。月別推移についてみると、輸入物価は平成24年半ばから25年末まで大きく上昇し、26年末をピークに低下。同時期に企業物価と消費者物価はゆるやかに低下後、26年から遅れて上昇基調。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、連動しており、相関がみられる。

図4-9 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

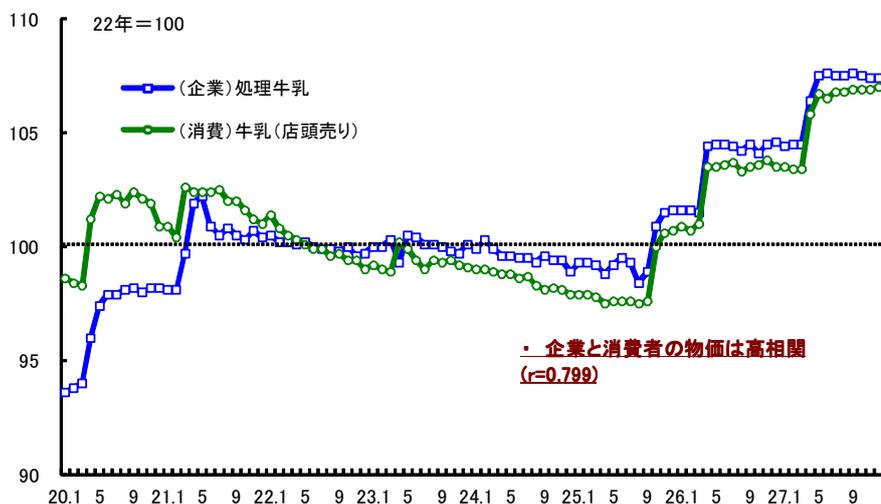
表4-4 チーズの輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 チーズ	企業物価 チーズ	消費者物価 チーズ
指数 22年=100			
20年	141.5	90.3	103.5
21年	97.5	98.5	105.4
22年	100.0	100.0	100.0
23年	101.2	99.7	99.5
24年	90.2	97.9	97.0
25年	118.8	93.9	95.5
26年	141.5	100.3	107.0
27年	124.8	105.8	109.3
前年増減率 %			
21年	▲ 31.1	9.1	1.8
22年	2.5	1.5	▲ 5.1
23年	1.2	▲ 0.3	▲ 0.5
24年	▲ 10.9	▲ 1.8	▲ 2.5
25年	31.6	▲ 4.2	▲ 1.5
26年	19.1	6.8	12.0
27年	▲ 11.8	5.5	2.1

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

牛乳の平成 27 年の企業物価は対前年比 2.8 %（26 年は 4.1 %）とわずかに上昇し、消費者物価も 2.9 %（26 年は 4.6 %）とわずかに上昇。月別推移についてみると、企業物価、消費者物価ともに 25 年後半から上昇基調となっている。

図4-10 **牛乳** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-5 **牛乳** の企業物価・消費者物価の推移

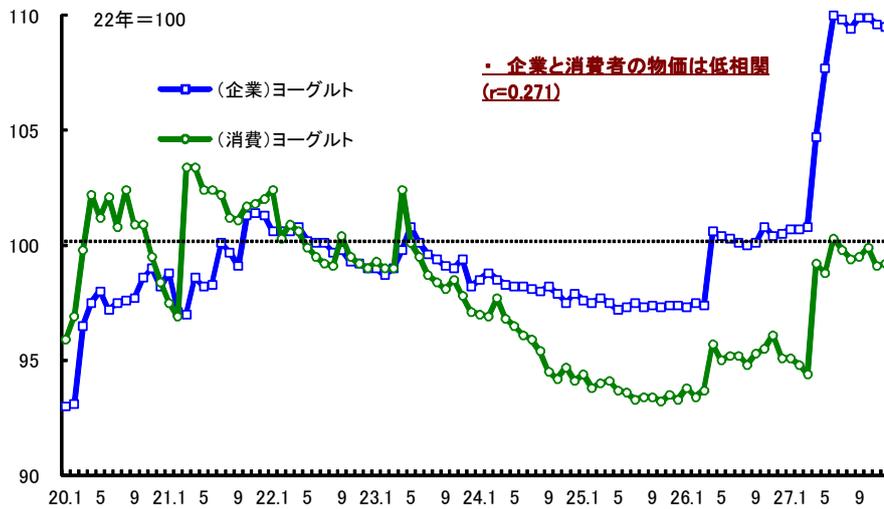
	企業物価 処理牛乳	消費者物価 牛乳
指数 22年=100		
20年	96.8	97.7
21年	100.3	101.0
22年	100.0	100.0
23年	100.0	99.4
24年	99.6	98.6
25年	99.7	98.5
26年	103.7	103.0
27年	106.7	106.0
前年増減率 %		
21年	3.7	3.4
22年	▲ 0.3	▲ 1.0
23年	0.0	▲ 0.6
24年	▲ 0.4	▲ 0.8
25年	0.1	▲ 0.1
26年	4.1	4.6
27年	2.8	2.9

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

ヨーグルトの平成 27 年の企業物価は対前年比 7.3 %とかなりの程度上昇、消費者物価も 3.6 %とやや上昇。月別推移についてみると、企業物価と消費者物価とも 26 年 4 月に消費税増税等により上昇し、さらに、27 年前半に大手乳業メーカーの値上げの影響等により上昇基調となっている。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、相関が低い。

図4-11 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-6 **ヨーグルト** の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 ヨーグルト	消費者物価 ヨーグルト
指数 22年=100		
20年	97.0	100.1
21年	99.2	101.3
22年	100.0	100.0
23年	99.3	99.0
24年	98.2	95.8
25年	97.4	93.6
26年	99.6	94.9
27年	106.9	98.3
前年増減率 %		
21年	2.3	1.2
22年	0.8	▲ 1.3
23年	▲ 0.7	▲ 1.0
24年	▲ 1.2	▲ 3.2
25年	▲ 0.8	▲ 2.3
26年	2.2	1.4
27年	7.3	3.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

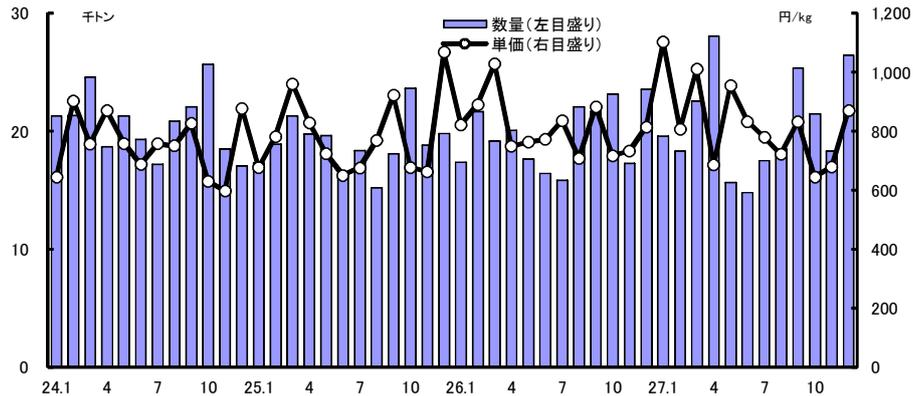
(2) 水産食料品

かつお・まぐろ類（生・蔵・凍）の平成27年の輸入量は、対前年比4.5%（26年は3.9%）とやや増加、輸入単価は同1.7%（26年は3.0%）とわずかに上昇。

たら（生・蔵・凍・すり身）の平成27年の輸入量は、対前年比2.2%（26年は17.5%）とわずかに増加、輸入単価は同18.5%（26年は13.4%）と大幅に上昇。

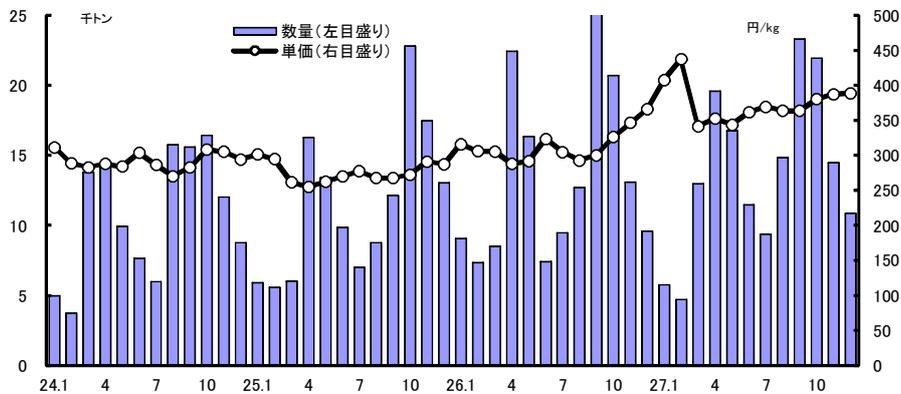
さば・さんま・あじ・いわしの平成27年の輸入量は、対前年比14.2%（26年は10.8%）とかなり大きく増加、輸入単価は同▲6.5%（26年は4.7%）とかなりの程度低下。

図4-12 **かつお・まぐろ類**（生・蔵・凍）の輸入量と輸入単価の推移



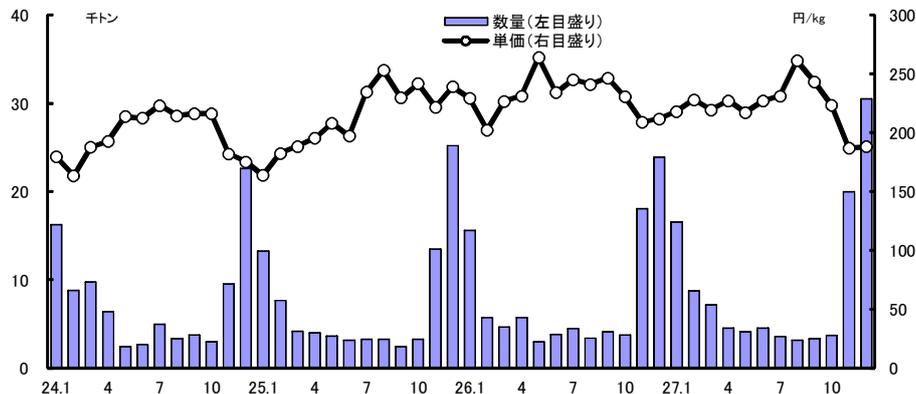
資料:財務省「貿易統計」

図4-13 **たら**（生・蔵・凍・すり身）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-14 **さば・さんま・あじ・いわし**の輸入量と輸入単価の推移

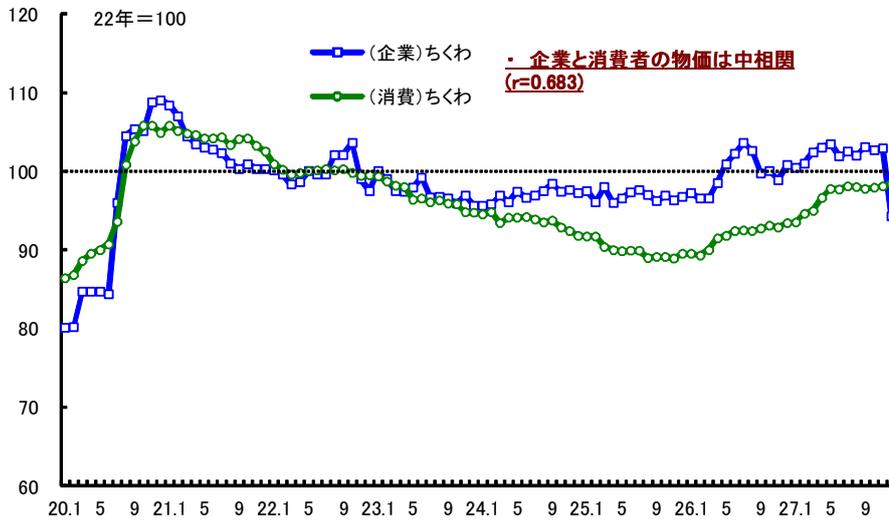


資料:財務省「貿易統計」

ちくわの平成 27 年の企業物価は対前年比 1.9 %（26 年は 3.0 %）とわずかに上昇、一方、消費者物価は 5.7 %（26 年は 2.1 %）とやや上昇。月別推移についてみると、平成 24 年の春以降は企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きかったが、27年末に逆転した。

なお、企業物価と消費者物価は平成 20 年以降、連動しており、相関がみられる。

図4-15 **ちくわ** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-7 **ちくわ** の企業物価・消費者物価の推移

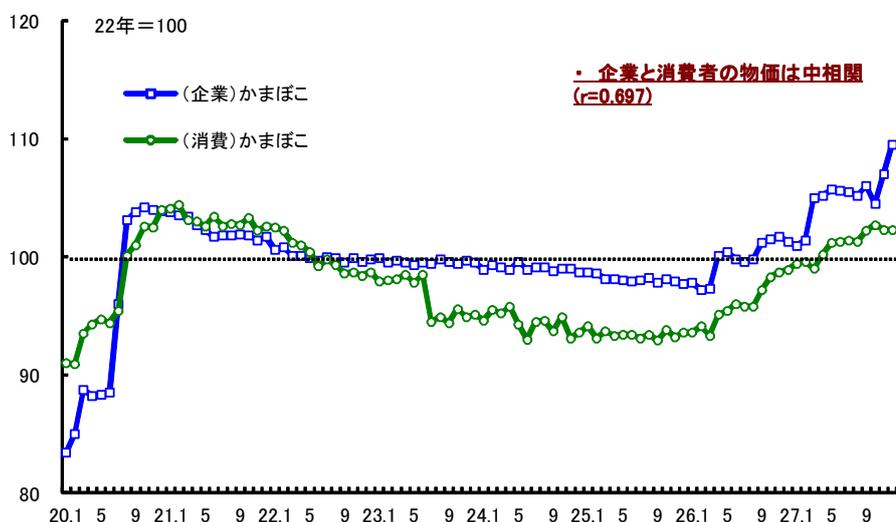
	企業物価 ちくわ	消費者物価 ちくわ
指数 22年=100		
20年	94.0	95.6
21年	102.8	104.2
22年	100.0	100.0
23年	97.5	96.7
24年	97.0	93.6
25年	96.9	89.9
26年	99.8	91.8
27年	101.6	97.0
前年増減率 %		
21年	9.5	9.0
22年	▲ 2.8	▲ 4.0
23年	▲ 2.6	▲ 3.3
24年	▲ 0.5	▲ 3.2
25年	▲ 0.1	▲ 4.0
26年	3.0	2.1
27年	1.9	5.7

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

かまぼこの平成 27 年の企業物価は対前年比 5.3 %（26年は 1.8 %）とやや上昇、一方、消費者物価は 5.3 %（26 年は 2.8 %）とやや上昇。月別推移についてみると、平成 23 年の夏以降、企業物価に対して消費者物価の低下幅が大きく、上昇に転じた後も乖離がみられる。

なお、企業物価と消費者物価は平成 19 年以降、概ね連動しており、相関がみられる。

図4-16 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-8 **かまぼこ** の企業物価・消費者物価の推移

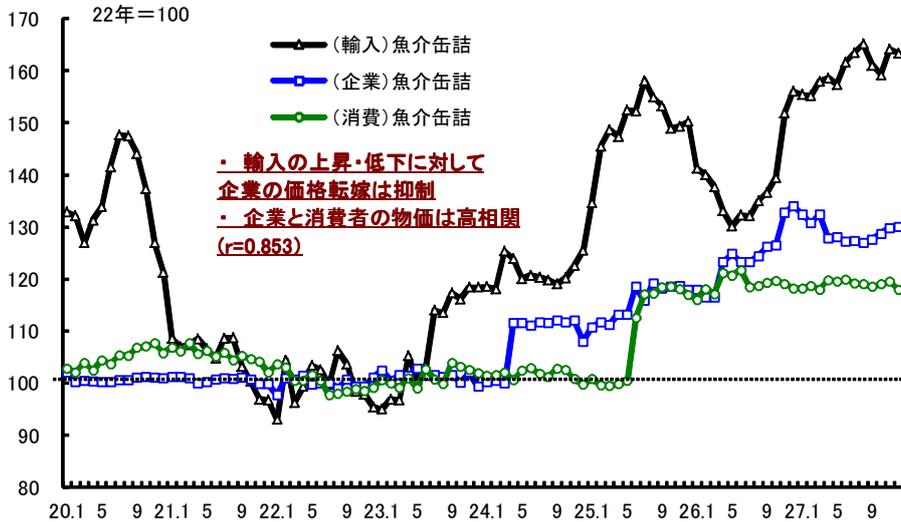
	企業物価 かまぼこ	消費者物価 かまぼこ
指数 22年=100		
20年	94.8	97.0
21年	102.3	103.1
22年	100.0	100.0
23年	99.6	96.5
24年	99.0	94.4
25年	98.1	93.4
26年	99.8	96.0
27年	105.1	101.1
前年増減率 %		
21年	8.0	6.3
22年	▲ 2.3	▲ 3.0
23年	▲ 0.4	▲ 3.5
24年	▲ 0.5	▲ 2.2
25年	▲ 1.0	▲ 1.1
26年	1.8	2.8
27年	5.3	5.3

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

魚介缶詰の平成27年の企業物価は対前年比4.0%（26年は7.4%）とやや上昇、一方、消費者物価は▲0.1%（26年は8.3%）と前年並み。月別推移についてみると、消費者物価は企業物価の上昇に遅れて25年夏に上昇し、以降概ね横ばいで推移している。

なお、企業物価と消費者物価は平成20年以降、高い相関がみられる。

図4-17 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-9 魚介缶詰の輸入物価・企業物価・消費者物価の推移

	輸入物価 魚介缶詰	企業物価 魚介缶詰	消費者物価 魚介缶詰
指数 22年=100			
20年	135.3	100.8	104.8
21年	104.8	100.6	105.3
22年	100.0	100.0	100.0
23年	108.0	101.3	101.2
24年	121.2	108.5	101.6
25年	149.6	115.6	109.9
26年	138.7	124.1	119.0
27年	160.2	129.1	118.9
前年増減率 %			
21年	▲ 22.5	▲ 0.1	0.5
22年	▲ 4.6	▲ 0.6	▲ 5.0
23年	8.0	1.3	1.2
24年	12.2	7.1	0.4
25年	23.5	6.6	8.2
26年	▲ 7.3	7.4	8.3
27年	15.5	4.0	▲ 0.1

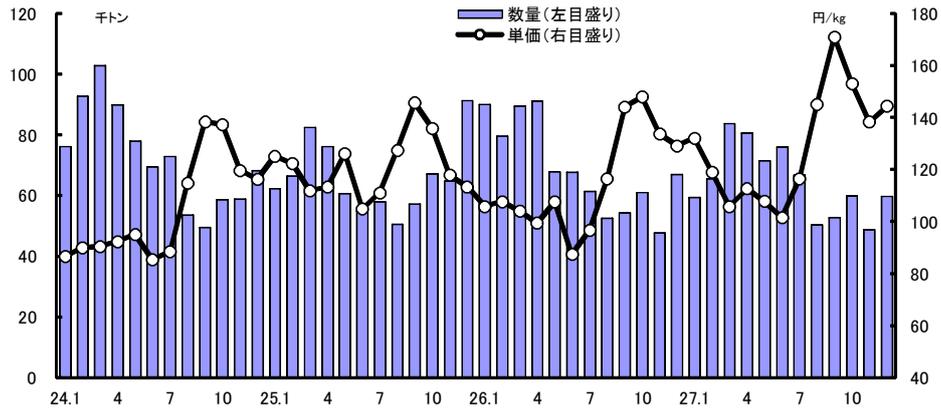
資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

(3) 農産加工品

野菜（生鮮・冷蔵）の平成27年の輸入量は、対前年比で▲6.6%（26年は4.8%）とかなりの程度減少、輸入単価は同11.7%（26年は▲6.5%）とかなり大きく上昇。

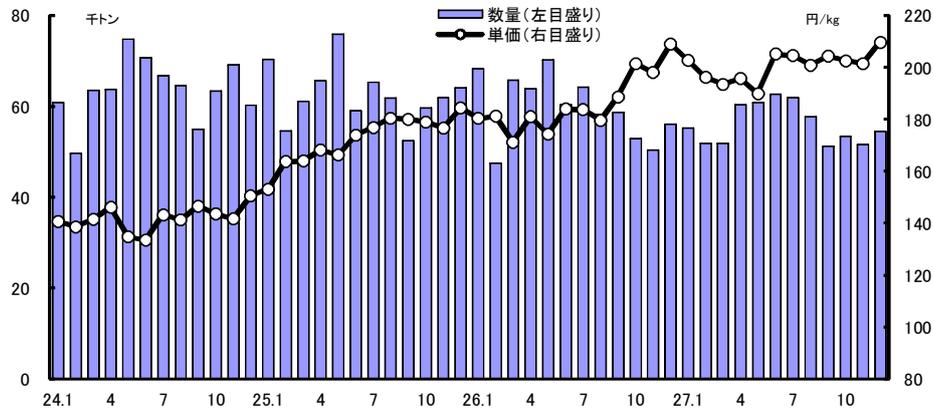
野菜缶・びん詰類等の平成27年の輸入量は、対前年比で▲6.1%（26年は▲4.7%）とかなりの程度減少、輸入単価は同8.2%（26年は7.8%）とかなりの程度上昇。

図4-18 野菜（生鮮・冷蔵）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

図4-19 野菜缶・びん詰類等の輸入量と輸入単価の推移

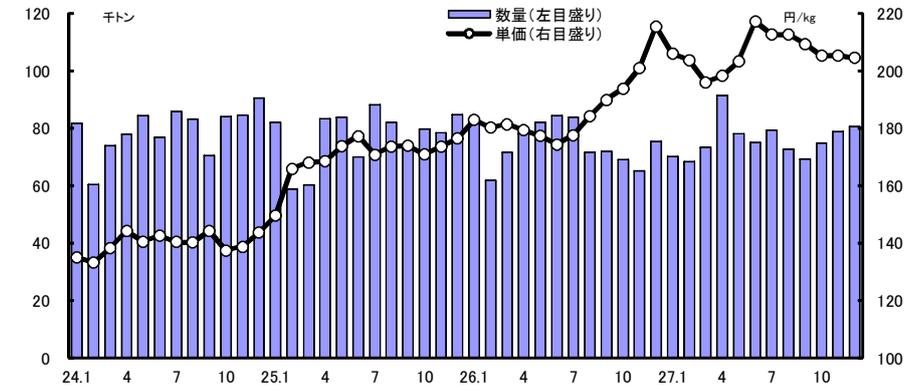


資料:財務省「貿易統計」

冷凍野菜の平成27年の輸入量は、対前年比で 1.6 %（26 年は▲ 2.9 %）とわずかに増加、輸入単価は同 10.8 %（26 年は 9.3 %）とかなりの程度上昇。

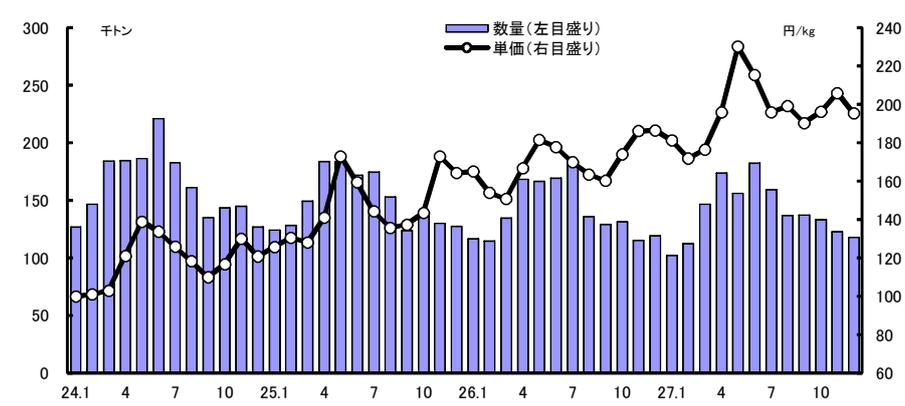
果実（生鮮・乾燥）の平成 27 年の輸入量は、対前年比で▲ 0.1 %（26 年は▲ 6.0 %）と前年並み、輸入単価は同 16.3 %（26 年は 15.7 %）と大幅に上昇。

図4-20 冷凍野菜の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

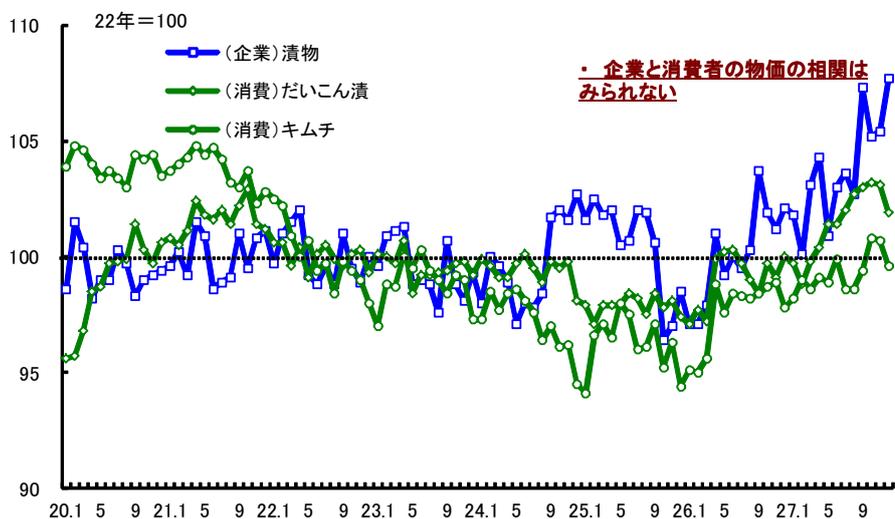
図4-21 果実（生鮮・乾燥）の輸入量と輸入単価の推移



資料:財務省「貿易統計」

漬物の平成 27 年の企業物価は対前年比 3.7 %（26 年は▲ 0.4 %）とやや上昇、一方、だいこん漬の消費者物価は同 2.5 %（26 年は 1.1 %）とわずかに上昇、はくさい漬は同 3.4 %（26 年は 3.3 %）とやや上昇。

図4-22 漬物の企業物価・消費者物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

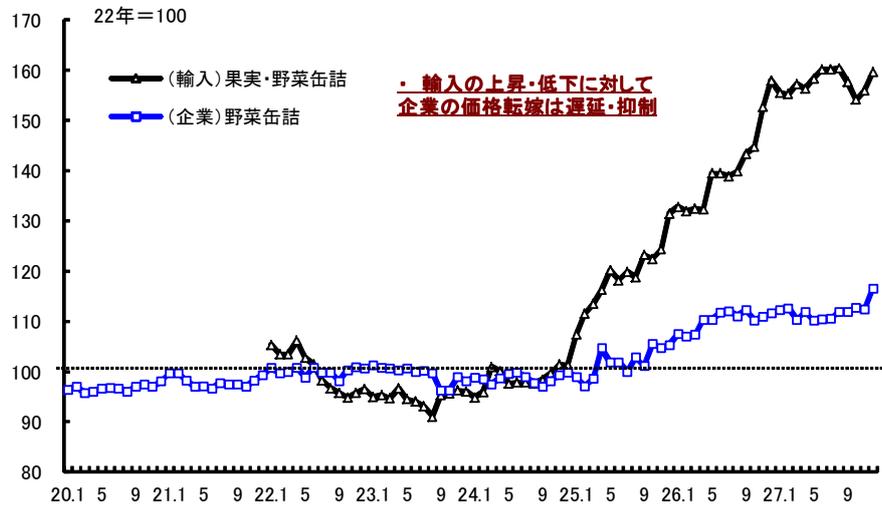
表4-10 漬物の企業物価・消費者物価の推移

	企業物価 漬物	消費者物価 だいこん漬	消費者物価 はくさい漬
指数 22年=100			
20年	99.4	98.9	102.3
21年	100.0	101.6	102.5
22年	100.0	100.0	100.0
23年	99.5	99.6	99.9
24年	99.7	99.4	100.1
25年	100.4	97.9	98.9
26年	100.1	99.0	102.2
27年	103.8	101.5	105.7
前年増減率 %			
21年	0.7	2.7	0.2
22年	▲ 0.0	▲ 1.6	▲ 2.4
23年	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1
24年	0.2	▲ 0.2	0.2
25年	0.8	▲ 1.5	▲ 1.2
26年	▲ 0.4	1.1	3.3
27年	3.7	2.5	3.4

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

野菜缶詰の平成 27 年の輸入物価（果実・野菜缶詰）は対前年比12.2 %（26 年は 18.1 %）とかなり大きく上昇、一方、企業物価は同 1.6 %（26 年は 8.2 %）とわずかに上昇。月別推移についてみると、輸入物価は著しく上昇しているのに対し、企業物価は緩やかに上昇している。

図4-23 野菜缶詰の輸入物価・企業物価の推移



資料：日本銀行「企業物価指数」「輸入物価指数」、総務省「消費者物価指数」

表4-11 野菜缶詰の輸入物価・企業物価の推移

	輸入物価 果実・野菜缶詰	企業物価 野菜缶詰
指数 22年=100		
20年		96.7
21年		97.9
22年	100.0	100.0
23年	94.7	99.4
24年	98.6	98.6
25年	118.9	101.8
26年	140.4	110.2
27年	157.5	111.9
前年増減率 %		
21年		1.3
22年		2.1
23年	▲ 5.2	▲ 0.6
24年	4.0	▲ 0.8
25年	20.6	3.3
26年	18.1	8.2
27年	12.2	1.6

資料：日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」